

第18回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2012年3月4日

試合会場

決勝
セ-402

肯定側: よるしい じろは論争た

否定側: Utsuyo!! MIRAIGA

判定理由・コメント

批判 ・税の目的は所得の再分配であり、何も置いて放置することは状況を悪化させる。後戻りはダメ。とにかくアクションを取ることに変更が必要。 いんたは批判。

・現状 保険料が足りず 保険証を取り上げられた人も。消費税を上げて再分配。そのような状況を改善せよ。という話もあつた。

否定側は「お金は社会保障費に回さないと話も伸びてはほしたか。ZARAの通り、115は他のものに回さず。今回のケースでは 大部分は ニッポン に来るはず。 社会保障費 → 成立します。

デメリット 食料品が消費税上昇により 食料品を買いにくく。中小企業も困る。という話

肯定側は過去の事例のインデックス。山一、アジアオキの話をエビデンス etc を示して 伸ばした上下。このデメリットの固有性もアタックしています。否定側も同様に、明日の食費が足りなくて、生活が苦しくなる人も115から117ですか。消費税から 固有に出るデメリットは ~~少~~ 少なくなるでしょう。 前示したか → 一応成立します。

また否定側の 食困者を困らせる政策はすまじい。生活費の話等々は

肯定側のケースにもあつてしまふ。デメリットのユニークな話とは取れず取られず。

少なくとも、今この瞬間に、消費税を増税すると、政府の決定事項に従って、おかげで社会保障費に回り、医者にも行けぬ人も救われ、ことかあり得る。食困者 中小企業 のデメリットも考えれば、増税が望ましいと考えられます。

この試合における勝者は: よるしい じろは論争た

ベストディベーターは: 玉置

審査員署名: _____

第18回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2012年3月4日

試合会場: 決勝 セ-402

肯定側: よししいちは論争だ

否定側: Utsuyo!! MIRAIGA

判定理由・コメント

現状において社会保障費が削減されて、その影響を受けている世帯が100万世帯以上あると自体は事実特に否定側からの反論がなかった。

社会保障の目的税化 過去の政策と異なり、肯定側は消費税の目的税化を提案に対し、従って税収の全ては大半は社会保障費に使われる。否定側は過去の事例はそれを持ってくるだけで、社会目的税化を政府が負担しなくても、その目的が何故であるかに阻止が(負担増に)はしるのかを証明すべき → ミットは残る

貧困者の生活の苦しみ ミットには、お程度は残るであろう。現在爪に付いておける生活にせよ世界にせよ、たして1%の消費税増で老々を担っているから。ただし、そのお程度がどの程度か不明だし、何れも有効な対策を否定側は示さなかった。短期的にも、ミットの中期的にもた場合、税収を上げ政策は不可で、そのために消費税の増税はベストな手段であるという肯定側の主張に説得力がなくて批判的。消費の落ち込み ~~お程度~~ 既に必要をいも考慮すれば、少なくとも消費税の増税の直接的影響で消費が落ち込むことは考えられなかった。企業倒産、失業率の増加 過去に(消費税増税時)企業倒産が増えたとはいえ。

この試合における勝者は: よししいちは論争だ

玉置 繁之氏

55%→10%に上げて、影響を受けた企業は多かった。世帯が(10万件倒産、失業10.2%)が了/用(7-7割) 審査員署名:

おは命からい、いすかにし、現状を放逐はよければ、状況が悪化する。お程度は残る。今すぐにも消費税をあげることで、悪化する一方の非望をに達せ、お程度は残る。ミットがテクトを上回していった。

第18回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2012年3月4日

試合会場

決勝
セ-402

肯定側:

よろ 論

否定側:

Utsu MIRA

判定理由・コメント

肯定側は財政状況悪化を「早く対応せよ」という危機感と共に訴えてきている。

対して否定側は、論題「これは景気を押し下げることにする」との反論から、論題の否定を図っている。

データー上、1997年の税率変更時には倒産は増えている。
雇用のどうであるかは情報不足で判断が可なり。

法人税減にまわされた過去があるが、現状ではどうなのか(過去と同じ手か)というAFFの視点には納得感ある。

中小企業、苦境は ~~≡~~ フォーンによらずとも税金、いくばくかの悪影響(特に雇用面で)はありそうだ。

過去を見れば法人税にまわたりながら、現状を見れば(目的税化して)人々の福祉に資するもつとある、と考えられる。

全体としては不足を補ってあげると感じられる

この試合における勝者は:

肯定 よろ 論

ベストディベーターは:

玉木

審査員署名: _____

第18回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2012年3月4日

試合会場

決勝
セ-402

肯定側:

--

否定側:

--

判定理由・コメント

政府の役割、税金の役割、基本的な価値観などについては驚くほど合意があった試合でした。最終的な争点は、新政策が弱者を護るのか犠牲にするのか。肯定側は多くの論点を勝ち取っています。今回消費税を目的税化する点、否定側のシナリオに矛盾があること、経済見通し、企業行動の論証が弱いことなど。税の目的が所得の再配分であることもそうです。しかし「明日かあさってか」の論点は一意見の呈示であり、決定基準としては弱いものです。否定側の主張は「もし今増税したら生活に雇用を脅かすリスクがある」という議論を、論証不足として退けるだけのウエイトがないと判定しました。

この試合における勝者は: 否定側

審査員署名: ~~ZAC~~ ZAC 玉置

第18回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2012年3月4日

試合会場

決勝
セ-402

肯定側:

よろしい (略)

否定側:

Utsuyo!! (略)

判定理由・コメント

AD: 残らない。

解決性は、増収の10兆円がほぼ全て国民に再配分されてはじめて得られるものと考えた。(少なくとも、「安心」の話などは、そういう性格のものだと思う。)

・閣議決定については、「次の内閣が守る保証がないと守らなかった実例あり」という否定側の主張をとる。

・「少なくとも7%は社会保険に回った」については、一年あたり1000億円(10兆の7%)でどの程度改善するのか不明である。(2のADは、リニアな性質ではないと思う。)

DA: 残らない。

消費税増から倒産へのリンクは、経験的に否定される。

また、否定側の言う、「コストさげん = クビ切り」については、証明がない。

結局、つらんから失業に至るリンクは示されなかった。

この試合における勝者は: 否定側

ベストディベーターは: 玉置

審査員署名: _____